

## 耳鼻咽喉科

### 顔の片側が突然動かなくなり 顔面神経まひと診断。 完治するのか不安

42歳、女性。顔の片側が突然動かなくなり受診すると、ヘルペスウイルス感染による「顔面神経まひ」と診断されました。ビタミン剤を処方され、よくなっているように思いますが、完治するのか、後遺症や再発がないか不安です。(奈良県 A)

ヘルペスウイルス感染による顔面神経まひにはウイルスの種類によって、水痘・帯状疱疹ウイルスが原因の「ハント症候群」と、近年になり単純ヘルペスウイルスがおもな原因になっていることが解明された「ベルまひ」の2つのタイプがあります。

ハント症候群は耳介から外耳道にかけて強い痛みを伴う小水疱(带状疱疹)が出現し、めまいや難聴を伴うこともあるのが特徴的です。また、ハント症候群はベルまひに比べて、顔面神経まひの程度が強く、その回復も悪い傾向があります。

ヘルペスウイルスによる顔面神経まひは、ある日急におこりますが、すぐには治らず徐々にゆっくりともとに戻ります。軽度のまひは自然治癒することも多いのですが、多くの人が治療によって、もとの状態に回復します。

最初からまひの程度が重症の人では治りが悪く、後遺症としてまひが残ってしまいます。まひが長くつづく顔面表情筋が萎縮して顔の動きが不十分のままになってしまったり、口を動かすと目が一緒に閉じてしまうような異常共

顔面神経まひはウイルスの種類によってハント症候群とベルまひの2種類がある。発症後すぐに治療すれば回復が可能

同運動という後遺症が出てくる場合があります。

ヘルペスウイルスによる顔面神経まひの初期治療には、ステロイドと抗ウイルス薬が使われます。発症からできるだけ早いうちに治療を開始することが大切で、2週間以上経過すると薬の効果はあまり期待できません。

発症時から重度のまひで回復が望みにくいと考えられる場合には、耳鼻咽喉科で顔面神経減荷手術が行われることもあります。治りが悪い場合には、顔面表情筋のリハビリテーションを始めることで、そのような後遺症が軽減できることもわかっていますので、専門の医療機関でリハビリテーションを受けていただくケースもあります。

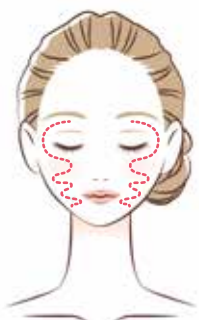
顔のまひが長引き、患側の表情筋が萎縮してしまつと、左右の顔面が非対称が目立つようになります。そのような場合には神経や筋肉を再建

する形成外科的手術が行われることもあります。

ハント症候群による顔面神経まひの再発はほとんどありませんが、ベルまひはまれに再発することがあります。とくに糖尿病のある人は免疫力が落ちていて、感染に対して弱いので注意が必要です。

### 顔のマッサージ法

点線の方向に沿って指先や手のひらを使って、顔面の皮膚と筋肉をマッサージすることで、動かなくなった筋肉がほぐれ、萎縮を予防できる。そのほか、顔の筋肉を大きく動かすために、笑うことも大切。



回答者 / 笠井耳鼻咽喉科クリニック自由が丘診療室(東京都)院長 笠井創